

親鸞

平田聖子 宗教音楽の世界

親鸞が音楽で現代に甦る。

2012年6月3日(日) 14:00開演
13:30開場

三井住友海上しらかわホール

<http://www.shirakawa-holl.com/> 052-222-7110 地下鉄伏見駅5番出口徒歩3分

●チケット料金 / ¥3500 ※当日正面入り口にて全席指定席と交換(交換開始は12時より)

●チケット販売 / チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード:164-015]

- 主催 / 親鸞和讃を歌う実行委員会
- お問い合わせ / 親鸞和讃を歌う実行委員会 wasan2012@yahoo.co.jp
- 後援 / 株式会社法蔵館、株式会社カメラータ・トウキョウ、NHK文化センター名古屋総支社
同朋大学、名古屋音楽大学、愛知県立芸術大学音楽学部同窓会



親鸞



鸞

作曲家 平田聖子の宗教音楽の世界 — 親鸞と蓮如

親鸞や蓮如の著作をテキストにした宗教作品は、西洋における宗教作品に対峙する、日本の純粋な宗教音楽の誕生といえるだろう。聴くものの心に、聖人の言葉が実に深く届いてくる。訊けば彼女は、代々親鸞聖人を仰ぐ家庭に生まれ、念仏の中で育ったようだ。作品の特徴でもあるのだが、西洋宗教曲の「アーメン」にあたる「南無阿弥陀仏」が、真に豊かな感動をもって歌われるのだ。曲ごとに違った旋律で流れる「南無阿弥陀仏」を聴いていると、一種のトランス状態になってくる。2009年、親鸞和讃曲集としては日本初のリリースとなったCD「本願力にあいぬれば」に続き、今年5月25日、第2弾「慶ばしいかな・白骨章」がリリースされる。このコンサートでは、アルバムの卓越した演奏者たちによる感動の生演奏が聴けるといえるものだ。

* CDは、カメラータ・トウキョウ録音、法蔵館発売。アマゾン、ジュンク堂書店大阪本店などでも入手できる。

出演者

作曲・指揮／平田聖子 ひらたせいこ (1960～)

愛知県立芸術大学音楽学部作曲科卒業。作曲を小林秀雄氏に師事。ミュンヘンに留学。昭和60年度文化庁舞台芸術創作奨励賞受賞。合唱曲から器楽曲までの作品群は、聴衆に親しまれ、演奏家たちの新しいレパートリーとなっている。仏教音楽の作曲は、1995年よりライフワークとしている。



テノール／波多野 均 はたの ひとし

愛知県立芸術大学大学院修了。ウィーン国立音楽大学卒業(最優秀ディプロマ取得)。ザルツブルク国際モーツァルトコンクール第3位、旧東ドイツ・オペラ歌手コンクール第2位入賞。ルツェルン、アーヘン、マクデブルクの各市立歌劇場と契約。モーツァルト、ロッシーニ、プリーテン等のオペラ約30演目に出演。コンサート歌手としても「ブラハの春」等、数々の著名な国際音楽祭に客演。特にエヴァンゲリストとしての出演回数は100回を超え、ドイツの各紙上で「圧倒的な力量」と絶賛された。1992年帰国。現在、大阪音楽大学大学院、京都市立芸術大学、名古屋音楽大学各講師。全日本学生音楽コンクール審査員。大阪ゲヴァントハウス合唱団常任指揮者。



フルート／伊藤 公一 いとう こういち

6才よりフルートを故永長次郎氏の許で学び始める。岐阜大学学芸学部音楽科在学中の1962年から1995年まで、京都市交響楽団で首席奏者として活躍。1973年、スイス・ボスヴィルで行われた20世紀最大の巨匠マルセル・モイーズのマスタークラスにおける演奏は同氏より絶賛され、そのフレンチスクールを継承する演奏スタイルは今日まで常に高い評価を受けている。門下生からは、国内外で活躍するオーケストラプレイヤーを数多く輩出。2009年の日本フルートコンヴェンションのリサイタルでは、幅広いレパートリーを披露し注目を集め、2010年名古屋でのリサイタルも好評を博した。現在、名古屋芸術大学音楽学部及び大学院教授、相愛大学音楽学部講師。日本フルート協会常任理事。



バイオリン／矢田 充子 やだあつこ

京都市立芸術大学音楽学部卒業。1987～1988西ドイツ・デュッセルドルフ・ロベルト・シューマン音楽大学留学。草津国際アカデミー、リブラモン(ベルギー)国際アカデミーに於いて豊田耕児氏のマスタークラス受講。1997～2001京都フィルハーモニー室内合奏団在籍。全日本学生音楽コンクール西日本大会第3位入賞。ヴァイオリンを若林正伸、海野義雄、中山朋子、亀田美佐子、尾関えりか、ミハエル・ワイマンの各氏に、室内楽を田口朝子、岸邊百々雄の各氏に師事。現在はオーケストラ、室内楽等でフリーで活動中。後進の指導にもあたる。



チェロ／秋津 智承 あきつ ちしゅう

桐朋学園大学、ボストン・ニューイングランド音楽院を卒業。これまでに、故齋藤秀雄、故井上頼豊、安田謙一郎、ローレンス・レッサー氏らに師事。第46回日本音楽コンクール第2位、第8回チャイコフスキー国際コンクール第7位入賞。仙台フィルハーモニー管弦楽団、広島交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団の客演首席奏者を歴任。平成8年広島県「エネルギー音楽賞」を受賞。広島を本拠にコンサートやセミナーの主宰を多く手がける。現在、相愛大学、広島音楽高校講師。浄土真宗本願寺派、願船坊副住職。2003年4月に初CD「バッハ無伴奏チェロ組曲全曲」をリリース。2008年5月よりNHK BS2「クラシック倶楽部秋津智承～京都の庭園に響くバッハ～」は大変好評を博した。



ピアノ／垣内 みどり かきうち みどり

京都市立堀川高校音楽科(現・京都市立音楽高校)を経て愛知県立芸術大学ピアノ科卒業。同大学院修了。故・竹内美知子、山崎孝、小島淳子、故・小津恒子、故・谷康子、志村安英の各氏に師事。オーストリアにてJ・デムス氏に師事。京都、大阪でリサイタルを開催。関西フィル、モーツァルト室内管弦楽団とピアノ協奏曲を協演。アポロン弦楽四重奏団、アウアー弦楽四重奏団との協演の他、声楽や合唱の伴奏、指揮法講座のアシスタントを務める。万里の長城杯コンクール優秀伴奏者賞受賞。現在、宝塚音楽学校講師。



パーカッション／佐久間 真理 さくま まり

京都市立芸術大学音楽学部卒。同大学院音楽研究科打楽器専攻修了。打楽器を上基孝、山本毅の両氏に師事。クラシックからポピュラー・演歌まで、ジャンルを超えたフリー打楽器奏者として指名を受け、各地のプロオーケストラ、NHK録音録画・室内楽等で活躍。打楽器全般を操るリストとしても、その躍動感あふれる演奏スタイルは定評がある。2006年から40名余の打楽器奏者が結集する「打フェスタwithマリンバート」を主催し、2008年より名古屋市文化振興事業団次世代育成事業として4年間連続開催、好評を得る。また毎年各地の吹奏楽コンテストの審査員を務めている。2012年より愛知学泉短期大学非常勤講師。

大阪ゲヴァントハウス合唱団

指揮者・故林達次により1982年創設。2005年1月、波多野均が常任指揮者に就任。彼の欧州での豊富な蓄積による指導は早々に開花し、美しい響きと高度なテクニクで音楽性を豊かに表現し好評を博している。2002年以降、ドイツの合唱団カメラータ・ヴォカール・ベルリンと、ベルリンフィルハーモニー、ベルリンコンチェルトハウス、兵庫県立芸術文化センターにて、ブラームス「ドイツレクイエム」、バッハ「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」等を協演している。09、12年には平田聖子「本願力にあいぬれば」「慶ばしいかな」のCD録音演奏をした。



親鸞和讃を歌う会合唱団

愛知、三重のお寺に集う、12の合唱団で結成。「親鸞和讃の心」を総勢200余名で歌う、その歌声は圧巻である。

曲目

親鸞 和讃より	清風宝樹をふくときは 染香人のその身には 南無阿弥陀仏をとらうれば 本願力にあいぬれば
教行信証総序より	ひそかにおもんみれば
教行信証後序より	慶ばしいかな 他
蓮如 御文より	白骨章 他